

(病名:)

7F病棟(病室) 9801号室 患者様ID: 99999999

主治医以外の担当者(看護師):

患者様氏名: テスト 太郎 様 男

医師氏名: SS用 Test User 印

病棟看護長:

管理栄養士:

項目	月日	入院日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	入院3日目	退院日
達成目標		・不安の表出ができる ・治療について理解できる		・穿刺部に問題がない ・床上で安静が守れている	・説明内容に疑問・不信感の表出がない	退院後の生活に不安がない
治療・薬剤 (点滴・内服) 処置・手術		入院時検温をします。 検査に必要な部分の切毛をします。 両足背の印をつけます。 いつも飲んで頂いているお薬を持ってお持ちいただきますが、 場合によっては中止になるお薬があります。入院時に看護師にお渡しください。	午前中に検温を行います。 午前中に上肢に検査の為に点滴の針を挿入します。 膀胱留置カテーテルを挿入します。 手術の時間は当日お知らせします。 お昼より抗生剤を内服していただきます。 手術へ行く前に病衣・T字帯に着替えていただきます。その際に義歯・眼鏡・指輪をはずします。 鎮静剤を内服し、ストレッチャーで検査室へ移動します。	帰室後より心電図モニターをつけます。 帰室時と帰室3時間後に採血、検温をします。 点滴を翌日まで行う場合があります。 3時間後に足の付け根の穿刺部のおもりをはずします。 出血や下肢痛、違和感がある場合はお知らせください。	朝6時に検温をします。 足の付け根の穿刺部の消毒を医師が行います。 採血の結果で点滴の針、心電図モニター、膀胱留置カテーテルをはずします。	
検査		血液検査・心電図・胸部レントゲンがあります。	経皮的血管形成術を行います。	帰室時に血液検査をする場合があります。	・朝に血液検査があります。 ・血圧脈波の検査を行います。	
リハビリ		予定しているリハビリはありません。				
症状		下肢痛・下肢の痺れ・跛行	下肢痛・下肢のしびれ・跛行	出血・血腫・下肢痛・下肢のしびれ	下肢痛・下肢の痺れ・跛行	
看護計画	活動・安静度	制限はありません。	制限はありません	翌朝まで安静臥床になります	医師が穿刺部の消毒を実施後歩行可能になります。	制限はありません。
	食事	制限はありません。	昼-絶食 多少の水分摂取は可能です 	手術終了後2時間より飲水・摂取可能です。 夕食からお食事が出ますが臥床したままの食事に なります。	医師の診察が終わるまで食事を待って頂きます。	制限はありません。
	清潔	剃毛後シャワーを浴びる事ができます。	入浴・シャワーはできません。			
	排泄	制限はありませんが、場合によっては蓄尿して頂く場合があります。	制限はありませんが、場合によっては蓄尿して頂く場合があります。	膀胱留置カテーテルを挿入したままとなります。	医師の指示が出るまで蓄尿を続けて頂く場合があります。	
患者様及び御家族への説明	<入院時忘れずにもってきましょう> ・書類一式 ・今まで内服しているお薬4日分 ・看護師より入院・検査についての説明があります。 ・主治医より検査についての説明があります。 ・準備していただく物品 ・大きめのバスタオル1枚 ・T字帯1枚(当院売店にて購入可)		手術中はご家族の待機が必要となります。 手術中は病棟で待機をお願いします。 	安静度の関係からご家族の方に 食事介助をお願いする場合があります。 	主治医より手術結果の説明があります。 ご家族の来院をお願いします。 薬剤師より服薬指導、栄養師より栄養指導があります。 	看護師より次回受診日の お知らせと退院生活についての説明があります。 
栄養指導						
服薬指導						
特別な栄養管理の必要性	有 ・ 無					
退院後療養上の留意点 退院後の治療計画	高塩分食・高カロリー食は動脈硬化を促進するので、食事内容に注意しましょう。下肢の痛みが強くなったり、冷たく感じたりする場合は受診をしてください。 外来での定期通院を行って頂きます。内服薬が処方されているので、定期的に通院して下さい。					
総合的な評価 ◇	(日常生活活動度)		(認知機能)			

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

上記入院診療計画書の説明を受けました。

年 月 日 ご署名

(本人 ・ 家族)

あおもり協立病院

〒
030-0847
青森市東大野2丁目1番地10
TEL 017 (762) 5500
FAX 017 (729) 3260